

いまハンセン病療養所の いのちと向き合う！ ～実態を告発する市民集会～

強制隔離され、ふる里も、家族も、人生のすべてを奪われた人々は、
国の行政改革により、ふたたび人としての尊厳や人権が脅かされています。

医療も、看護も、介護も、施設ではたらく職員の定員削減により、
療養所の使命は失われつつあります。

平均年齢が82歳を超えた当事者たちは、実態を明らかにするために、
最後のたたかいに立ち上がろうとしています。

2012年

11/5月

午後5時半開場 6時スタート 8時終了

科学技術館・ サイエンスホール

(皇居わきの北の丸公園内) 東京都千代田区北の丸公園2-1

内 容

1. 神美知宏氏
「ハンセン病療養所における介護の実態」
2. 青木美憲医師
「ハンセン病の後遺障害と必要な介護」
3. 笏雄二氏
「入所者の立場から、必要な介護と現状の告発」
4. 職員から
「介護職員の介護労働の現状」
5. 玉城シゲさん、上野正子さん
「ハnstの決意表明」
6. 徳田靖之弁護士
「まとめと闘いに向けた要請」



主催：ハンセン病療養所の将来構想をすすめる会

全国ハンセン病療養所入所者協議会(略称・全療協)、
ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会、
ハンセン病違憲国賠訴訟全国弁護団連絡会、
全日本国立医療労働組合、
ハンセン病市民学会・支援する市民の会

お問い合わせ：全国ハンセン病療養所入所者協議会

東京都東村山市青葉町4-1-10 TEL042-396-2052

●会場までのアクセス

- 東京メトロ東西線 竹橋駅下車(1b出口) 九段下駅下車(2番出口)
- 東京メトロ半蔵門線 九段下駅下車(2番出口)
- 都営地下鉄新宿線 九段下駅下車(2番出口)